

令和 7 年度事業報告書

1. 概況

令和 7 年度の事業計画の基本方針および重点項目に基づき、各事業を実施した。

学校給食の実施にあたっては、引き続き教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者（栄養教諭・学校栄養士）と緊密に協議しながら、栄養価の確保と食材価格高騰対策の両立を図り、献立作成および食材費抑制に努め、安全・安心な学校給食の提供を行った。

まず、学校給食用物資の選定・調達については、原材料の産地確認や学校給食用物資納入指定業者への指導を行い、安全・安心で良質な物資の確保に努めるとともに、契約栽培による野菜調達や地元産物資の優先購入を進め、地産地消の推進を図った。

また、南学校給食センターにおける食物アレルギー対応食（鶏卵、乳、えび、かに）の提供に対し、本会としてもこれに対応した給食用物資を供給した。

学校給食用物資の食材価格や調達状況については、ロシアによるウクライナ侵攻やイランを含む中東情勢の緊張の影響を受けて、穀物や燃油をはじめとした世界的な物資価格の高騰が続き、食材調達環境は一層不透明な状況となった。

加えて、令和 7 年度は全国的に精米価格が高騰し、松江市においても学校給食用米「きぬむすめ」の価格が上昇した。令和 7 年 1 1 月からの精米価格は、年度当初と比較して 4 5. 5 % の増額となったが、これに対して松江市から価格高騰に対する支援を受けた。また、精米以外の牛乳および副食食材の価格高騰に加え、2 月の大雪による休校の影響についても、松江市から給食費と食材費補填の支援を受け、食材価格の動向を注視しながら収支相償の運営に努めたが、結果として収支は赤字を計上することとなった。

なお、休校や学級閉鎖等に伴う廃棄食材については、松江市社会福祉協議会を通じて福祉事業者や「こども食堂」等へ無償提供（1 0 件）し、有効活用に努めた。

一方、食材調達のために保護者から徴収する給食費に関しては、令和 5 年度 2 学期の改定から 3 年が経過し、給食費の改定を検討する時期を迎えている。現在、物価の動向等を踏まえつつ、令和 8 年度 2 学期からの給食費改定に向けて「松江市学校給食費検討委員会」において協議が進められている。

最後に、本会の運営状況については、本会ホームページにおいて、南・北・西学校給食センターの献立に加え、事業計画書・予算書・事業報告書・決算書等を掲載し、引き続き積極的な情報発信に努めた。

2. 理事会等の開催状況

(1) 理事会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第1回	議第1号	令和6年度事業報告並びに収支決算書類(案)の承認について	R7.6.10	南学校 給食センター
	議第2号	定時評議員会の招集について		
	議第3号	役員候補者の推薦について		
	議第4号	臨時理事会の書面同意について		
第2回	議第1号	理事長の互選について	R7.6.27	書面表決
	議第2号	副理事長の互選について		
	議第3号	常務理事の互選について		
第3回	議第1号	令和7年度補正予算(第1号)について	R8.3.12	南学校 給食センター
	議第2号	令和8年度事業計画及び収支予算について		

(2) 監査会

議 題	開催日時	開催場所
令和6年度事業並びに決算についての監査	R7.6.3	会議室

(3) 評議員会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第1回	議第1号	評議員の選任について	R7.6.26	ホテル 白鳥
	議第2号	役員の選任について		
	議第3号	令和6年度収支決算承認について		

(4) 学校給食試食会

11月11日(火);(南センターで開催)

参加者19名(評議員6名、理事6名、学校給食課3名、南センター職員2名、学校給食会職員2名)

3. 登記、許認可、報告、届出事項

行政官庁	区 分	年 月 日	事 項
松江地方法務局	申請	令和7年7月15日	法人変更登記申請書
島根県教育委員会	報告	令和7年6月27日	令和6年度事業報告書・ 収支決算書提出
	届出	令和7年7月22日	公益法人変更届出書提出
	報告	令和8年3月26日	令和8年度事業計画書・ 収支予算書提出

4. 評議員、役員に関する事項（令和8年3月31日現在）

〔評議員〕

区 分	氏 名
評議員	青 木 佳 子
評議員	大 本 公 良
評議員	伊 藤 晶 弘
評議員	藤 原 奈緒美
評議員	長 島 美保子
評議員	万 代 悦 子
評議員	金 崎 智 枝

〔役員〕

役職名	氏 名
理事長	大 谷 晶 子
副理事長	新 田 紀 久
常務理事	早 弓 康 雄
理 事	藤 原 恵 子
	田 城 敏 史
	原 田 岳 志
	佐々木 明 美
	福 田 郁 子
	岡 村 文 江
監 事	金 井 寿 彦
	小 室 範 明

5. 参与に関する事項（令和8年3月31日現在）

区 分	氏名	所属	職名
参 与	足 立 訓 英	松江市立北学校給食センター	所長
参 与	勝 部 聡 子	松江市立南学校給食センター	所長
参 与	村 松 哲 也	松江市立西学校給食センター	所長
参 与	斉 間 康 浩	松江市立鹿島学校給食センター	所長
参 与	山 崎 努	松江市立島根学校給食センター	所長
参 与	山 崎 和 子	松江市立八雲学校給食センター	所長
参 与	深 江 篤 司	松江市立宍道学校給食センター	所長
参 与	山 本 幸 二	松江市立東出雲学校給食センター	所長

6. 職員に関する事項（令和8年3月31日現在）

区 分	職 名	氏 名
職 員	事務局長	早 弓 康 雄
	事務員	平 野 恵 美
		福 田 陽 子
		上 代 有里花

7. 重点項目

（1）公益法人の安定経営

令和7年度も引き続き市教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者の協力も得ながら収支相償の事業運営に取り組んだが、物価高騰の影響等により赤字を計上する結果となった。

〔給食会の収支状況〕

（単位：円）

年 度	正味財産増減額	正味財産期末残高
26	△1,237,557	13,023,147
27	22,830,229	35,853,376
28	3,633,802	39,487,178
29	△5,754,738	33,732,440
30	4,746,083	38,478,523
元	3,262,712	41,741,235
2	△15,584,125	26,157,110
3	△4,736,613	21,420,497
4	△7,891,821	13,528,676
5	△5,482,735	8,045,941
6	19,539,038	27,584,979
7	△14,908,421	12,676,558

（2）安心・安全・良質な食材物資の選定・調達

食材物資の選定にあたっては、「学校給食衛生管理基準」に基づき松江市PTA連合会並びに松江市教育研究会食育部から参画を得て学校給食用物資選定会を開催し、食材物資の選定方法・選定過程の透明性の確保、学校給食の運営に対する理解と協働の推進に努めた。

選定会は、松江市立北・南・西学校給食センターで使用する食材物資を対象に、夏休み期間を除き毎月開催した。

〔学校給食用物資選定会開催状況〕

開催月日	選定物資	選定者	場所
4月8日	5月使用分	○松江市 PTA 連合会 ○松江市教育研究会食育部 ○松江市立北・南・西学校 給食センター各所長・栄養教諭・学校栄養士 ○松江市学校給食課	松江市立 西学校給食 センター 2階会議室
5月8日	6月使用分		
6月4日	7月使用分		
7月1日	7年度2学期・9月使用分		
9月4日	10月使用分		
10月9日	11月使用分		
11月5日	12月使用分		
12月2日	7年度3学期・1月使用分		
1月7日	2月使用分		
2月4日	3月使用分		
3月4日	8年度1学期・4月使用分		

(3) 食材物資の衛生管理

①衛生管理の啓発（学校給食用物資衛生管理研修会の開催）

学校給食用物資納入指定業者登録年度に、登録業者を対象として学校給食用物資衛生管理研修会を開催している。令和7年度は8月20日（水）に開催し、納入指定業者の衛生管理の向上を図り、食中毒・異物混入の発生防止に努めた。

令和7年度参加事業者数は対象となる27事業者のうち15事業者であった。

②異物混入対策

給食用物資の異物混入については、平素から学校給食関係者・機関が一体となって発生防止に努めた結果、令和7年度は前年度より2件減少した。

異物を発見した場合は、納入業者に現物を引き渡し、製造業者を含めて異物混入の原因と再発防止対策について速やかな報告を求め、対策の実施を指導した。

〔異物混入件数〕

年 度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件数(件)	91	86	113	97	79	60	58

③食品微生物検査対策

食品微生物検査対策については、各学校給食センターで年3回実施された食材の微生物検査結果を確認し、基準値を超えた場合は当該業者に指導・注意喚起を行っている。令和7年度は基準値を超える事案はなかった。

④工場視察の実施

上記の異物混入や食品微生物検査結果に基づき、異物内容、発生回数、検査結果数値等の実態に応じて、工場等への立入調査を行い、その原因や再発防止について業者と

協働で対策を講じることとしている。

また、新規に登録を希望する納入指定業者については、事前に工場等への視察を行い、設備、衛生管理などの現状把握に努めている。

令和7年度は、いずれも該当する事業者はなかった。

⑤納入物資の産地等の確認

納入物資の産地確認を行うと共に、外国産冷凍野菜についてはポジティブリスト（農薬残留値リスト）や細菌検査成績書の提出を受けて確認を行い、安全確保に努めた。

（４）地産地消の推進

①契約栽培

松江市教育委員会では、「第2次松江市農山漁村地域活性化推進計画（令和6年度～11年度）」における「学校給食全品目地場産比率」を目標数値として、市内野菜の納入拡大に取り組んでいる。

J Aしまねとの契約栽培による野菜については数量の確保や規格（大きさ、重さ）などの課題もあるものの、松江市からの助成（25%）により低価格で調達できるというメリットがある。当会でも松江市やJ Aしまねと連携を強化し、契約栽培農家や野菜の種類の増加、作付け状況を見据えた献立作成などを行い、全品目について使用・発注に努めた結果、地場産品比率は7年度の目標値44.0%に対し、42.6%の実績であった。

今後も地場農産物を取り入れた学校給食の促進に努めていく。

〔学校給食全品目地場産比率（%）〕

年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
比 率	41.4	41.4	38.7	36.3	42.6

②地場産野菜の利用促進

野菜・肉など食材物資の選定・調達については、学校給食用物資選定基準の「同等・同価格のものは、松江市内産・島根県内産を選定する。」に従い地元産を優先的に使用した。

8. 事業の概要

（１）学校給食用物資納入指定業者登録

本会は、良質で安心・安全の食材物資を安定的に調達するため、物資を納入する業者については学校給食用物資納入指定業者登録審査会で審査を行い、登録した業者から物資を購入した。登録期間は令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間。

〔納入指定業者数〕

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

給食センター管内	登録事業者数
北・南・西	35
鹿島	1
島根	2
八雲	5
宍道	7
東出雲	9
計	59

※ 南・北・西センターの業者数は、他センターに納入している業者を含む。

〔区分ごと納入指定業者数〕

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区 分	登録業者数	備考
主 食	8	※複数の区分で登録する業者があるため
牛 乳	2	
副 食	52	
計	59	

(2) 物資の選定・調達

①主食

ア 精米・小麦粉

前年度と同様、松江市教育委員会から（公財）島根県学校給食会に提出された「学校給食（精米・小麦粉）需要申請書」に基づき、年間を通して（公財）島根県学校給食会から購入した。米は、令和元年 1 1 月に松江市内産こしひかり 2 等米から同市内産のきぬむすめ 1 等米に変更した。

パン用の小麦粉は、国内産小麦 1 0 0 % で、内 2 5 % は島根県内産を使用した。

麺用の小麦粉はオーストラリア産小麦 1 0 0 % を使用した。

イ ごはん・パン・麺

ごはん・パン・麺は、（公財）島根県学校給食会、事業者、本会との 3 者契約により、炊飯 3 事業者、パン 3 事業者、麺 1 事業者から購入した。

②牛乳

「学校給食用牛乳供給対策要綱」（文部科学省事務次官通達）及び「島根県学校給食用牛乳供給実施方針」に基づき、配分機関である（公財）島根県学校給食会と牛乳供給事業者（2 事業者）と本会との 3 者契約により購入した。牛乳はすべて島根県内産である。

幼稚園用牛乳給食は学校給食法に基づく給食ではないため、本会と牛乳事業者 2 者との個別契約により購入した。

③副食物資

翌月の献立に基づき、納入指定業者から「見積書」及び食材の「サンプル」を徴取し、学校給食用物資選定会において「物資選定基準・分類表」に基づき栄養バランス、成分、添加物、アレルギー物質の有無、食味、食感、産地、価格等を比較検討し、納入する物資及び納入業者を決定した。

使用頻度が高く価格変動の少ない物資（調味料・缶詰等）は学期毎の選定を、野菜・食肉等は月毎の選定を行った。

④物資の納入先と給食の配送先

物資の納入先	給食の配送先			
給食センター	小学校	中学校	幼稚園	計
北	中央、津田、川津、朝酌、持田、本庄、美保関、八束前期	第二、第四、本庄、美保関、八束後期	中央、津田、川津、朝酌、持田	18か所
南	雑賀、古志原、竹矢、乃木、忌部、大庭、玉湯前期	第三、湖南、湖東、玉湯後期	古志原、大庭、たまゆ	14か所
西	母衣、城北、内中原、法吉、生馬、古江、大野、秋鹿	第一、湖北	母衣、城北、古江、秋鹿	14か所
鹿島	恵曇、佐太、鹿島東	鹿島	佐太、講武	6か所
島根	島根	島根	—	2か所
八雲	八雲	八雲	—	2か所
宍道	宍道、来待	宍道	—	3か所
東出雲	出雲郷、揖屋、意東	東出雲	—	4か所
8か所	33校	16校	14園	63か所

※佐太、講武、たまゆ幼稚園は完全給食、その他の南・北・西センター管内の幼稚園は牛乳給食、それ以外の幼稚園は給食を実施していない。

※生馬・恵曇・竹矢・本庄・大野・忌部・雑賀幼稚園は休園。

9. 資料

(1) 受取給食費単価

(単位：円／食)

区分	完全給食	牛乳給食	備考
小学校	310	—	
中学校	354	—	
幼稚園	290	72	